

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

東山田地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

担当エリア全体では高齢者数が 6,000 名を超えたため、地域包括支援センターの職員も 1 名増員され 4 名体制で地域支援にあたっている。地区センター、コミュニティハウス（2 館）、国際プール、民間のスポーツクラブとそれぞれの施設ごとに地域住民が運動から趣味活動まで幅広い活用が見られる。また、農地もところどころに見られ畑仕事にいそしむ住民の姿を見ることもでき無人売り場等の活用も見られる。

【東山田地区】東山田 1 丁目から 4 丁目は港北ニュータウンに属し、東山田町は古くからの町並みを一部に残している。長く東山田地区に居住する住民と港北ニュータウンに居住する比較的新しい住民とで連合町内会の取り組み等を通し相互に協力しながら安心安全を目指す町づくりがなされている。東山田町については高齢者の多い町となっており相談件数は当ケアプラザの 1 位となっている。

【山田地区】すみれが丘町内会、南山田町内会、北山田町内会の 3 単位町内会で構成されている。すみれが丘は、この 3 町内会の中で最も高齢化がすすんでおり東山田町に次ぐ相談件数となっている。また、当ケアプラザからは一番距離のある地域と言うこともあり昨年度から月に 1 回の出張相談会を町内会の協力を得て開催している。北山田は北山田駅周辺を中心に若い世代の住民が多く子育て地区となっている。山田富士公園等を活用し子育て支援が展開されている。また、6 丁目はすみれが丘と並んで高齢者の多い地区となっている。南山田は東山田地区同様、1 丁目から 3 丁目が港北ニュータウン内に位置し、南山田町が古くからの町並みが残る地域となっている。南山田町も高齢者の多い地区となっており、相談件数が 3 番目に多い。山田地区は、多くのマンションが並び、町内会と自治会それぞれが地域づくりを行っている。

【課題】

- ①各地区で交通の便を考慮したつどいの場合が必要。（交流、介護予防等）
- ②総合相談に見られる傾向として多問題ケースが増えている。
- ③地域の担い手の高齢化に伴う活動の継続の困難さ。
- ③町内会、自治会未加入住民に対する情報伝達、状況把握。課題の早期発見早期対応。住民同士の交流の場が必要。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

地域活動（老人会、サロン、昼食会等）に出向き、ケアプラザが福祉の総合相談窓口であることを PR した。また、その場で相談を受付けた。子育てに関する講座を開催する中で、子どもについての相談も受付けている。

3. 高齢者＋障害者世帯等、世帯全体で支援が必要なケースが増えてきている。障害分野の支援が必要な場合は、区役所や障害の専門機関と連携。カンファレンスを開いたり、同行訪問をしたりしている。また、まるっとプロジェクトと共催をし、支援者・地域向けの講座「障がいて何だろう」を 3 回実施。障害理解とともに、相談先についても案内した。

(3) 各事業の連携

1. 毎朝の CP 内ミーティングは個別ケースの情報共有・支援検討を目的に開催。個別ケースから、地域の課題やニーズの把握に繋がった。月 1 回の 5 職種ミーティングでは、主に事業の進捗状況や地域状況の共有を図り、協働して事業を展開した。また、日常的に情報交換を行った。
2. 5 職種で地域アセスメントを実施。地域の状況を把握したうえで、事業を検討。東山田での居場所づくり、すみれが丘での認知症見守り支援等の事業展開をした。
3. 両コーディネーターで把握した高齢者について、状況が変化した場合にすぐに包括へ繋いでもらい、早期に相談対応できる体制をつくった。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

1. 職員が中心となって研修会を実施することができた。
2. 外部研修の報告は閲覧にとどまらず内部研修として報告会を実施した。
3. 利用者に対する情報提供についてはミーティング等で声掛けするほか、管理職が無作為にファイルを抽出し適正な支援が行われているか都度、確認している。
4. 地域活動交流事業のコーディネーターの産休代替えが配置できずサブコ増員+所長の兼務で代行している。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

1. 3 事業連携事業として障害支援事業所と介護保険事業所との顔の見える関係づくりを目的にてエリア連絡会を実施した。28 名の参加者があった。
2. 介護保険事業所と連携し地域活動に出向き介護予防ボランティア活動を実施した。
3. 障害支援機関と共催事業として「障害を知る」講座と小学生の親子対象にスクラップブックの講座を開催した。スクラップブックは内容が好評だったため予定になかったが 2 回目の講座を開催し来年度の足掛かりとなった。(1 回目 15 名 2 回目 16 名の参加)
4. 東山田エリアにチャコ村の支援ができ世代間交流が可能な集いの場ができた。

(6) 区行政との協働

日頃、それぞれに確認し、把握した情報について、ケアプラザ内で共有。主に圏域カンファレンスを通じて、区役所の方と情報共有に努めた。共有をもとにアセスメントシートの更新作業を実施した。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

1. 障害児のアート教室では地域活動支援ホームが主催する美術展に作品を出品することができかわりに広がりがあった。
2. 東山田地区社協と共催し子どもむけのマジック教室を開催。発表会を実施することで普段、ケアプラザに足を運ぶことのない親世代の参加があり周知活動につながった。
3. 育メンパパ講座を実施。3 回のコースで実施し来年の足掛かりになった。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

貸館の予約方法を毎月1日抽選方式に変更したことで、都度必要な情報提供ができるようになった。また、貸館団体同士の人々のつながりもいられるようになってきている。貸館団体交流会では交流の中で新たな活動の場の開拓が見られた。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

1. あいちゃんボランティアの登録について1件の問い合わせと1件の登録があった。
2. 東山田ボランティア友の会ではDIYの講座を実施し研修と交流の場を持つことができた。また、認知症ミニフォーラムを包括と共催し友の会のPRに努めた。
3. エリアの学校だけではなく教員資格取得のための実習生の受け入れを積極的に実施し大学生に福祉に触れてもらう機会を増やした。(9名)
4. 子育て中の養育者自らがVO活動したいと思える環境作りを数年にわたり実施してきた結果、今年は10回、24名のボランティア活動に結び付いた。またボランティア活動をきっかけに養育者同士につながりができ新たな活動の動きもあった。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

エリアの活動の情報提供を広報紙を通して実施した。その広報紙をホームページに掲載し広く周知活動を実施した。計画していたエリアごとの広報活動が未実施に終わった。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

1. 地域の住民主体活動の把握に努め、地域活動・サービスリスト作成とインフォーマルサービスリストへの反映を行った。
2. コーディネーター連絡会前に生活支援体制整備事業の自主勉強会を継続して実施しているほか、都筑の区域で生活支援体制整備事業の研修を行い、取組事例の発表と他職種への事業理解の場にする事が出来た。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

1. 地区担当保健師、包括保健師と共に地区アセスメント実施。相談から把握した個別ニーズや地域資源等情報共有し、生活課題やニーズの把握に努めた。
2. ケアプラザエリア内の事業所が集まるエリア連絡会の場において地域活動の情報をエリア内事業所と共有することができた。エリア内事業所からの問い合わせを通じてエリア内事業所利用の住民に情報を提供・地域活動の利用へつなげることが出来た。
3. 包括・居宅介護支援部門の相談内容を共有する会議に参加をし、相談内容の分析・地域課題の把握に努めた。
4. 貸館利用・地域活動参加の住民からの聞き取り、代表からの情報を汲み取り、地域内ニーズ把握に努めた。

(3) 連携・協議の場

1. 地域活動の把握と同時にどのような連携・協議の場があるかの把握に努めた。
2. 「元気づくりの会」でのボランティア・地域活動者との連携に向けた協議は実施できていない。
3. 「介護予防活動班」を立ち上げ、5つの地域活動から活動参加の依頼を受け、体操・認知症予防の講話等による介護予防の活動を提供した。地域事業所と地域活動の接点づくりにもつながった。
4. 現状は「元気づくりの会」、「シニア☆スター養成講座」、「介護予防活動班」それぞれの参加者・参加事業所による広域での連携・協議の場を設けることはできていない。年度中に北山田のエリアを対象に、介護予防に関する連携・協議の場を検討中。参加者には地域関係者、老人会、地域活動、介護予防活動班参加事業所などを予定している

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

1. コーディネーター連絡会を活用し、広域の地域課題解決に向けた連携を図っている。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

1. インフォーマルサービスリストの配布を通じて、資源の活用について周知を実施した。ケアマネジャーからの問合せ受ける場面が増えた。
2. 地域関係者や地域の活動に向けて、包括支援センターリーフレットを配布し、周知に努めた。
3. 「東山田地域ケアプラザエリア連絡会」を開催し、地域の介護サービス事象所との横の連携を図り、研修会として、障害相談機関(くさぶえ、こころ野、リリーフネット)について情報提供を行った。

② 実態把握

1. 相談傾向について確認し今後の事業展開に反映していく予定となっている。
2. 地域の活動に出向き、情報収集を実施した。インフォーマルサービスリストなどの情報整理や情報発信に活用した。

③ 総合相談支援

1. 毎朝、包括・CO・CMでミーティングを行い、相談内容を共有し、担当者が不在でもすぐに対応体制を整えることができた。また、その場でそれぞれの職種の視点から支援に対する意見を出すことで、課題の早期解決に努めることができた。
2. 必要に応じ、区役所や障害分野の専門機関との同行訪問やカンファレンスの開催を行った。
3. 一人暮らしで生活に支障が出てきているがサービス利用に拒否的な方等、継続的にフォローが必要な方に対し定期的な訪問を実施した。
4. ①高齢化率かが高い(約23%)＝認知症高齢者が多くいる可能性が高い、②権利擁護に関する相談件数が全件数の約半数、③徘徊した際、他市に行ってしまうリスクが高いことから、地域の見守り支援について協議する場(地域ケア会議、協議体)をすみれが丘で設定した。

相談の中で、障害分野に関することが増えたため、まるっとプロジェクトと共催して支援者・地域向けに講座を開催。また、介護保険事業所向けに障害の相談機関についての勉強会を実施し、分野を越えたネットワークづくりを行った。

5. 地域の活動に参加し、包括の役割等を案内し周知を行った。その際に相談を受けけることもあった。

6. すみれが丘会館（11月～1月は、会館の工事のため北山田小コミハ）において、月1回出張相談会・サロンを実施。毎月1～2組の相談やサロンの利用があった。

（2）権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

1. 相談業務の中で、障害分野との連携が必要なケースが増えてきている。連携強化の目的を兼ねて区内包括、区社協、くさぶえ、リリース・ネットと共催し、障害児者の親向けの成年後見準備講座を開催した。49名の参加があった。事業を通して、高齢分野、障害分野における権利擁護の状況を把握することができた。
2. 区内包括と共催し、弁護士・税理士巡回相談会を実施。相談会では、成年後見制度や相続についての相談が多かった。税理士巡回相談会では後見制度と相続についての講義も行った。区内包括を巡回するため、相談者の都合に合わせて相談会の案内をすることができた。税理士と事業を行うことは初めてだったため、新たな連携先をつくることができた。
3. 成年後見サポートネットの企画、運営に協力。「相互理解」をテーマに高齢分野・障害分野の権利擁護について検討することができた。
4. 包括内でケース検討し、権利擁護が必要なケースについては、区役所と連携して支援にあたった。

② 高齢者虐待への対応

1. 虐待が疑われるケースについて、速やかに区役所へ報告し、関係者で役割分担をして支援にあたった。支援者に向けて虐待の考え方に対する普及啓発が不十分だったためか、虐待に対する認識のズレが関係者間で生じることがあった。
2. 介護者の集いを月1回実施。毎回4～5名程度の参加者あり。主に茶話会を行い、情報交換、仲間作りのできる環境をつくった。会の中で入所についての話題が多々出たことと、虐待ケースへの支援のため入所施設についての講座を1度実施した。
4. 地域活動で包括の周知をする際、虐待に関する相談も受付けていることを案内。また、健康シニア体操（参加者100名程度）の中で、虐待について普及啓発を行った。
5. 認知症高齢者等支援ネットワークの実施がなかったため、参加がかなわなかった。

③ 認知症

1. 区、キャラバン・メイトと認知症サポーター養成講座を実施。地域ケア会議や協議体にて認知症の方の支援を検討したり、地域の状況について意見交換したりした。その中で、商店やコンビニから個別相談に繋がったケースがあった。
2. 認知症カフェ（コツコツ、ハーモニー）に毎回参加し、専門職にその場で相談できる環境をつくった。毎回ではないが、1～2組の相談を受けている。
3. 東山田ボランティア友の会と共催し、認知症ミニフォーラムを開催。70名程度の参加があった。
4. 認知症高齢者等支援ネットワークの実施がなかったため、参加がかなわなかった。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

1. インフォーマルサービスリストを民生委員やケアマネジャーに配布し、活用について助言を実施した
2. ケアマネジャー情報交換会では民生委員とケアマネジャーとの意見交換会を実施し地域の活動や困りごと等について意見交換する場を構築した。

② 医療・介護の連携推進支援

1. 区内の包括で協働し、平成 29 年 12 月に病院関係者とケアマネジャーとの交流会を実施した。(11 病院、都筑区在宅医療相談室)
2. 医療機関の情報を集約した冊子を作成し、配布グループワークを実施し、各医療機関との連携方法などを確認した
3. ケアマネサロンにて市医療局作成の入院・退院連携シートについて、ケアマネジャーや施設協力医に情報提供現状について確認した。
4. 毎月ケアマネサロンにて施設協力医と医療相談室 看護師に参加いただき、連携について確認ケアマネジャーとの意見交換を実施した。

③ ケアマネジャー支援

1. ケアマネジャーからの相談を受け、連携を図りながら支援を実施。
2. ケアマネサロンではケアマネジャー同士での意見交換で課題を解消する場面があった。
3. スキルアップや連携を目標にケアマネジャー情報交換会を実施。内容は地域包括ケアシステムの構築を意識しながら、企画、研修実施した。
 - ・ H29.5 小規模多機能型居宅介護施設見学・H29.7 認知症カフェについて
 - ・ H29.9 生活あんしんサポート事業・H29.11 介護保険外サービスについて
 - ・ H30.1 民生委員との交流会
4. 介護予防従事者研修区内の包括共催にて新任ケアマネジャー研修を実施。実施にはケアネットつづきに参加している事業所へ具体的なサービスの説明や見学の協力を得た。
5. 区内の主任ケアマネジャーにも協力いただき、グループワーク実施。新任ケアマネジャーと主任ケアマネジャーとの意見交換の場を構築した。
6. 介護サービス事業所連絡会「ケアネットつづき」、「主任ケアマネジャー連絡会」に参加開催支援を実施した。
7. 「主任ケアマネジャー連絡会」では連携や研修場面「コーティング研修」を構築した

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

1. 個別ケースケア会議を 2 度実施。(東山田町、北山田) 北山田ではケアマネジャーのいないケースを取り上げた。地域の課題を確認し、事業展開や包括エリアケア会議を進めていく予定。
2. 認知症の見守りについて、すみれが丘地域を対象に包括エリアケア会議を実施。現状について地域の商店や郵便局を交えて、地域関係者と共有した。その後は協議体として、継続して意見交換を実施している。また今後、介護予防に関する包括エリアケア会議を北山田にて実施検討中

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

1. 担当、委託を問わず随時ミニカンファレンスを実施し、支援の方向性、支援方法等話し合い評価を受けられる体制をとることが出来た。
2. 朝ミーティングや随時ミニカンファレンスを行い、日頃から情報共有し、委託先ケアマネジャーからの相談に誰もが対応できる体制の構築に努めた。
3. H30年1月15日に介護予防従事者研修を区役所・5包括共催で実施。（区内約30名のケアマネジャー参加あり）
4. 委託の担当者会議に参加した際、委託先CMから相談があった際、介護保険サービス事業所と話をする機会があった際等、適宜インフォーマルサービスについて情報提供を行い、積極的に活用してもらうよう周知を行った。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

1. 高齢化率が高く、活動が少ない南山田エリアで「南山田 de ランチ」、相談が多い北山田のマンション集会場で「3A サポーター養成講座」をそれぞれ介護予防普及強化事業として実施。「南山田 de ランチ」は元気づくりステーションとして自主化。「3A サポーター養成講座」は参加者それぞれが所属する団体で3Aを活用し介護予防の普及に努めている状況を伺っている。
2. 自主事業として臨床美術講座を実施。高齢者に限らず広く周知し、40代～参加があったが、子供、子育て世代の参加はなかったため、事業実施日程の設定等検討の必要あり。
3. 自主化支援し「南山田 de ランチ」が新たに元気づくりステーションとして立ち上がった。また、既存の元気づくりステーションにもモニタリングで伺い、状況や課題等を伺い、地区担当保健師とも共有している。
4. 2ヶ月に1回地区担当保健師と協力し「元気づくりの会」を開催。新たな活動立ち上げには至っていないが、参加者同士が情報共有を行ったり、それぞれの活動に持ち帰って実施出来る介護予防に関するミニ講座を実施。参加者が少なく、活動そのものが停滞してきているため、課題が残る。
5. 貸館利用団体、地域のサロン、体操教室等に出向き、ハマトレ、コグニサイズ、3A、介護予防に関する講話等実施し、介護予防普及強化に努めた。
6. 生活支援コーディネーターや、エリア内にある介護保険サービス事業所と連携し「介護予防活動班」を立ち上げ。依頼があった様々な地域活動に出向き、介護予防に関する講話や体操、ゲーム等実施。依頼内容とのマッチングや、活動運営方法で課題が残る。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

委託事業者により建物・設備の保守点検や定期清掃を実施しています。日常的には職員が日常点検・日常清掃を実施しています。施設としては老朽化がすすんでいるところですが不具合を発見したら直ちに修繕をすることでご利用者様にご迷惑がかからないようにしています。また、備品については台帳にて管理しており年度ごと不具合等を確認しています。横浜市の定める G3 の指定施設ではありませんが同様の対応をしています。

(2) 効率的な運営への取組について

1. 当ケアプラザが複合施設であることを活かし修繕、改修、業者清掃、点検について計画的に行い、建物全体で効率的な管理を行うよう努めています。
2. 節電、節水等利用者にも協力を得られることは積極的に協力を得られるよう取り組んでいます。
3. 職員教育によりサービスの質の向上を図りながら、効率的な人員配置を行った。

(3) 苦情受付体制について

1. 当法人の「苦情解決事業規程」に則り、苦情受付担当者、苦情解決責任者および第3者委員を設置。施設内に案内を掲示し、ご意見箱を設置するなど利用者等が申し立てをしやすい環境を作っています。
2. 「よこはま市民利用施設ご意見ダイヤル」等の取組に関し施設内に掲示しています。
3. 法人内で苦情解決事業報告会を実施し、第3者委員との意見交換会を実施しました。
4. 日頃から苦情のない施設運営を目指し良質なサービス提供のための職員教育を行っています。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

1. 緊急対応マニュアルを整備しそれに沿って対応するようにしています。
2. 防災については、本部防災会議に担当職員が参加し防災計画等作成しそれに基づき合同で防災訓練を年に2回実施しています。消防署、地域の消防団と共に消火器訓練や地震体験等を実施し消防署より講評を得ています。
3. 防犯については閉館時に担当職員が戸締りの確認をし、開館時間外は委託業者が遠隔で管理しています。また、事務所2か所に防犯ブザーが設置されており不審者の侵入等に備えています。
4. 事故防止については発生後にヒヤリハット・事故報告を作成し回覧で全職員が確認し再発防止に努めています。対策後の振り返りとして常勤会議で1件1件の確認を実施して意見交換をしています。また、研修委員会を中心に事故発生防止についての研修を年に1度開催し再発防止に努めています。

(5) 事故防止への取組について

1. 施設内の危険個所の有無、設備の状態を定期的に点検するほか、日頃から職員全体への危機管理意識の啓発を行いました。
2. サービス提供にあたっては、事故の内容に常に留意し必要に応じて援助方法の改善を行っています。
3. ヒヤリ・ハットの報告書は職員間で供覧し、事故情報を共有することで未然に事故を防ぐように役立てる。また、供覧スペースを設け過去の事例をいつでも振り返ることができる環境を整えています。
4. 安全衛生委員会を中心に、事故内容について集計・分析をおこない 研修会をとおして職員全員でその傾向を把握し再発防止策を検討しています。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

1. 当法人の「個人情報保護規定」 および東山田地域ケアプラザの「個人情報保護マニュアル」 に則り、個人情報保護に関する取り組みを実施しました。
2. 日常的に朝礼や会議を通して注意喚起を行うほか、年1回研修を行い職員間で周知徹底しています。
3. 「個人情報保護に関する方針について」は、施設内に掲示しています。
4. 個人情報ファイルやパソコンは施錠できる場所に保管し、退室時は担当者が施錠の確認を行っています。

(7) 情報公開への取組について

1. 事業計画・報告、予決算書等を含む法人理事会の資料を常時、閲覧できるようにしています。
2. 横浜市の「情報公開条例」の趣旨に則り、情報開示に取り組んでいます。

(8) 人権啓発への取組について

「身体拘束」「認知症」「権利擁護」の研修を通して、当事者の立場に立ち、何が人権侵害にあたるかに気づき、人権侵害をなくすという視点を職員間で共有しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

1. ゴミの分別や廃棄物のリサイクルに積極的に取組、廃棄物の減量に努めた。
2. 利用者訪問時はできるだけ車両を利用せず自転車や公共交通機関を利用するよう努めている。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師	2名	}	4名とも地域包括支援センター業務を兼務している。
社会福祉士	1名		
主任ケアマネジャー	1名		

《目標に対する成果等》

- 利用者および家族・介護者の意思を尊重し自立支援にむけた適切な介護予防プランを作成している。
- 事業実施にあたっては 関係機関、地域の保健医療・福祉サービス、ボランティア団体と連携し総合的なサービス提供の調整に努め、特にエリアの介護保険事業所と連携して介護予防普及活動に努めた。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 住み慣れた地域で介護予防できるようインフォーマルサービスの情報を常に更新し、プランに取り入れるよう努めている。
- 個人情報の保護に取り組む一方、必要に応じ適切な情報提供を行っている。
- 苦情を受けた場合は、真學に受け止め改善に努める。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
81	87	88	88	90	95
10月	11月	12月	1月	2月	3月
90	101	95	92	95	95

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者(主任介護支援専門員) 常勤 1名
 介護支援専門員 常勤 2名(うち、1名は主任介護支援専門員)
 非常勤 1名

《目標に対する成果等》

- 要介護認定を受けた利用者および家族・介護者の意思を尊重し、状態にあわせた適切なプランを作成した。
- ケアプラン実施状況のモニタリング、サービス担当者会議の開催は定期的に行い常に適正なサービス提供がなされるよう取り組んだ。
- 中重度者の支援困難ケースへの積極的な対応を実施。毎朝のカンファレンス、週1度のミーティングを通して質の高いケアマネジメントになるよう努めた。
- 都筑区委託の介護保険要介護認定調査件数は年間102件実施した。

《実費負担(徴収する場合は項目ごとに記載)》

なし

《その他(特徴的な取組、PR等)》

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
79	85	84	83	83	83
10月	11月	12月	1月	2月	3月
90	85	93	87	87	98

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 相談援助 ●送迎 ●健康状態の確認 ●入浴 ●給食 ●日常動作訓練
- 介護サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要介護1）	614円	（要介護2）	725円
（要介護3）	837円	（要介護4）	948円
（要介護5）	1,060円		
- 入浴加算 54円
- 食費負担 700円(特別食750円)
- その他、加算に応じ徴収

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 午前9時45分～午後3時25分

《職員体制》

管理者 1名(常勤)
 生活相談員 2名(常勤)
 介護職員 9名(非常勤)
 看護職員 4名(非常勤)
 機能訓練指導員 4名(非常勤・看護職兼務)

《目標に対する成果等》

- 利用者および介護者の意思を尊重し活動プログラムを工夫した。
- 通所介護計画を工夫するとともに、レクリエーションプログラムを多様化し実施した。
- 信頼される介護技術、知識を身につけるためケース検討や介護技術の勉強会を実施した。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ブンネメソッドを取り入れ音楽を通じた介護予防に取り組んでいる。
- 概ね月に1度地域ボランティアの協力を得てイベント開催している。
- 個人情報の保護に取り組む一方、必要に応じ適切な情報提供を行っている。
- 苦情を受けた場合は、真摯に受け止め改善に努める。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
443	483	454	448	398	386
10月	11月	12月	1月	2月	3月
325	327	306	281	306	343

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 相談援助 ● 送迎 ● 健康状態の確認 ● 入浴 ● 給食 ● 日常動作訓練

● 介護サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
（事業対象者）
（要支援1） 1,766円
（要支援2） 3,621円
- 入浴加算 54円
- 食費負担 700円（特別食750円）
- その他、加算に応じ徴収

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 午前9時45分～午後3時25分

《職員体制》

管理者 1名（常勤：兼務）
 生活相談員 2名（常勤）
 介護職員 9名（非常勤）
 看護職員 4名（非常勤）
 機能訓練指導員 4名（非常勤・看護職兼務）

《目標に対する成果等》

- 利用者および介護者の意思を尊重し活動プログラムを工夫した。
- 通所介護計画を工夫するとともに、レクリエーションプログラムを多様化し実施した。
- 信頼される介護技術、知識を身につけるためケース検討や介護技術の勉強会を実施した。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ブンネメソッドを取り入れ音楽を通じた介護予防に取り組んでいる。
- 概ね月に1度地域ボランティアの協力を得てイベント開催している。
- 個人情報保護の保護に取り組む一方、必要に応じ適切な情報提供を行っている。
- 苦情を受けた場合は、真摯に受け止め改善に努める。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
112	121	104	98	94	94
10月	11月	12月	1月	2月	3月
99	102	81	80	80	83

平成29年度 自主事業報告書

東山田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアプラギャラリー	①地域で行われている活動の紹介 ②発表の場の提供 ③顔の見える関係づくり ④新しい活動のきっかけづくり ⑤ケアプラザの周知	12回（毎月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スマイルコレクション	①施設間連携 ②子育て世帯を地域で見守るための土壌づくり	1回（7月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館団体交流会	①ボランティア、貸館団体同士の顔の見える関係作り ②貸館利用上の注意点のお知らせ ③ニーズ把握 ④悩みごとの共有、情報交換	2回（11月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもも大人も1日ボランティア講座	①ボランティア体験をしてもらい、ボランティアや福祉に興味をもってもらう ②ケアプラザの周知 ③ケアプラザで活動するボランティア団体の周知	夏休み期間 予定回数6日 実施回数3回

平成29年度 自主事業報告書

東山田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お掃除ボランティア	①ボランティア活動の促進 ②ケアプラザを自分達の活動場所として長く使ってもらえるように環境整備	2回（6月・11月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東山田ボランティア友の会	①ボランティア同士の交流会 ②ボランティア活動の活発に行われる風土づくり ③ボランティア支援 ④新たな担い手の育成	定例会：毎月 行事：3回 （5月・11月・12月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東山田連合町内会納涼盆踊り	①ケアプラザの周知 ②地域との顔の見える関係作り	8月4日5日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
北山田地区センター祭	①地域ケアプラザの周知 ②地域との顔の見える関係作り	1回（10/29）

平成29年度 自主事業報告書

東山田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
アフリカンダンスクラブ	<ul style="list-style-type: none"> ①障害を持つお子さんの養育者の負担軽減 ②保護者同士の交流の機会づくり ③顔の見える関係づくり ④ケアプラザが福祉の総合的な窓口であることの周知 	9回（概ね月に1回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
一番素敵なアートを見つけよう	<ul style="list-style-type: none"> ①障がいを持つお子さんにアートに親しむ機会づくり ②保護者同士の交流の場 ③障がいをもつお子さんを地域で見守る土壌づくり ④ケアプラザが福祉の総合的な窓口であることの周知 	4回 (6月・10月・11月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママと赤ちゃんのためのこころ育て講座	<ul style="list-style-type: none"> ①離乳食を終える時期のお子さんの食事についての不安解消 ②この時期の心身の発達を知る ③手作りの食事、手作りのおもちゃの楽しさを知ってもらう ④月齢の近い養育者同士の交流 	1回（2月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遊びのおもちゃランド	<ul style="list-style-type: none"> ①養育者の仲間作り ②子育てのストレス発散 ③子育て支援に関する情報の提供 ④他の子育て支援団体との連携 ⑤子育てボランティアの育成 	11回 (概ね月に1回)

平成29年度 自主事業報告書

東山田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子体操 ころころパンダ	①養育者の仲間作り ②子育てのストレス発散 ③親と子のスキンシップを用いた絆づくりの場の提供 ④ケアプラザの周知	19回 (概ね毎月2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でおもちゃ づくり	①世代間交流 ②地域資源との連携 ③親子、孫と高齢者の交流	1回 (7月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生き生きクラブ	①介護保険法で対象にならない、生活に必要なサービス提供を行うことで、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるように支援する ②顔の見える関係づくり ③高齢者の生きがいづくり	毎月実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父親育児支援講座	①子育て家庭の支援 ②父親の育児参加へのきっかけづくり ③父親育児支援を通して男性の地域へのつながりの場のきっかけづくり ④ケアプラザの周知	3回 (10月・11月)

平成29年度 自主事業報告書

東山田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
折り紙サークル	①折り紙ボランティアの育成 ②地域の顔の見える関係づくり ③子育てボランティアの育成	11回 (概ね月1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害者ポスティングボランティア	①障害者の就労支援 ②外出の機会 ③ケアプラザの周知	12回 (毎月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のためのクリスマスコンサート	①ケアプラザの周知 ②自主化した介護予防サークルの普及啓発	1回 (12月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てボランティア交流会	①ボランティア活動の促進 ②情報交換	1回 (2月)

平成29年度 自主事業報告書

東山田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい 「ほっと茶屋」	<ul style="list-style-type: none"> ①介護者のストレスを発散し、虐待防止 ②介護者の負担軽減 ③介護者の仲間作り ④介護知識の習得 ⑤ケアプラザの周知、情報提供 	12回（毎月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談会	<ul style="list-style-type: none"> ①地域包括支援センターの周知 ②ケアプラザから遠いエリアの方でも気軽に相談できる環境づくり ③地域住民が集える場づくり 	概ね月に1度 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害ってなんだろう（障害について考える）	<ul style="list-style-type: none"> ①支援機関同士の連携強化 ②支援者のスキルアップ ③地域住民へ障がいは身近であることの周知 	3回 (11月・12月・1月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症普及啓発 ②地域のつながり強化 ③相談できる場づくり ④介護予防の普及啓発（体操等） 	定期講座 毎月1回2エリア 12回×2=24回

平成29年度 自主事業報告書

東山田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボイストレーニング	①声楽家によるボイストレーニングを実施し介護予防の普及啓発を図る。 ②仲間づくり（地域活動の開発）	8回（4月～7月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
臨床美術シーグラス	①認知症普及啓発 ②論証美術体験で介護予防を図る。 ③交通の便が悪く、坂が多い地域住民が参加しやすい場所での講座開催	1回（6月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
臨床美術切り絵	①認知症普及啓発 ②論証美術体験で介護予防を図る。 ③交通の便が悪く、坂が多い地域住民が参加しやすい場所での講座開催	3回 （9月・11月・12月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	①エリアのケアマネジャーとの情報交換 ②制度に関する研修 ③協力医の医療相談	12回（毎月）

平成29年度 自主事業報告書

東山田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
新人ケアマネ研修	①区内ケアプラザ（主マネ）共催での新人ケアマネ研修 ②介護保険制度ならびに、介護予防に関する研修 ③仲間づくり	3回（8月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症ミニフォーラム	①認知症の普及啓発 ②医療機関との連携	12月2日開催 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エリア連絡会	①地域ケアシステム構築のための事業所連携 ②エリア内の介護保険事業所を集めた研修・情報交換 ③介護予防ボランティア実施に向けた話し合い ④交流会	2回（5月・12月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
TAKE10	区内ケアプラザ共催 ①食事を提供する地域活動運営者向けの研修 ②顔の見える関係づくりと既存する活動の充実および新たな活動の開拓	年1回

平成29年度 自主事業報告書

東山田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
インフォーマルサービスリスト	区内ケアプラザ共催 インフォーマルサービスリストの作成 インフォーマルサービスに関する情報収集と情報提供のツール	リスト作成は年間通して実施。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **東山田地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額									
	②参加人数	総経費	収入			支出					
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他			
ケアプラギャラリー	地域	2400	7624	地活	7624	0	0	0	7624	0	
	12団体			包括	0	0	0	0	0	0	
				生活	0	0	0	0	0	0	
スマイルコレクション	子ども	8	500	10479	地活	9579	900	0	7795	2684	0
					包括	0	0	0	0	0	0
					生活	0	0	0	0	0	0
貸館団体交流会	地域	36	0	2837	地活	2837	0	0	0	2837	0
					包括	0	0	0	0	0	0
					生活	0	0	0	0	0	0
子どもも大人も一日ボランティア講座	地域	3	0	1380	地活	1380	0	0	0	1380	0
					包括	0	0	0	0	0	0
					生活	0	0	0	0	0	0
お掃除ボランティア	地域	86	0	2202	地活	2202	0	0	0	2202	0
					包括	0	0	0	0	0	0
					生活	0	0	0	0	0	0
東山田ボランティア友の会	地域	124	0	23800	地活	23800	0	0	0	23800	0
					包括	0	0	0	0	0	0
					生活	0	0	0	0	0	0
東山田連合町内会納涼盆踊り	地域	50	500	42348	地活			47405		42348	
					包括	0	0	0	0	0	0
					生活	0	0	0	0	0	0
北山田地区センター祭	地域	-	0	11301	地活			13931		11301	
					包括	0	0	0	0	0	0
					生活	0	0	0	0	0	0
アフリカダンスクラブ	障害児者	94	500	51000	地活	3150	19500	0	0	0	5100
					包括	0	0	0	0	0	0
					生活	0	0	0	0	0	0
一番素敵なアートを見つけよう	障害児者	24	300	19366	地活						
					包括	0	0	0	0	0	0
					生活	0	0	0	0	0	0
ママと赤ちゃんのためのこころ育て講座	養育者および乳幼児	58	0	6793	地活	6793	0	0	6793	0	0
					包括	0	0	0	0	0	0
					生活	0	0	0	0	0	0
遊びのおもちゃランド	養育者および乳幼児	525	100	47945	地活	29345	18600	0	3341	17604	27000
					包括	0	0	0	0	0	0
					生活	0	0	0	0	0	0

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **東山田地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
親子体操 ころころぼんだ	乳幼児		地活	0	149600	0	139200	0	0
	578		包括	0	0	0	0	0	0
	2400	139200	生活	0	0	0	0	0	0
親子でおもちゃづくり	地域		地活	11579	5500	0	11136	5943	0
	28		包括	0	0	0	0	0	0
	500	17079	生活	0	0	0	0	0	0
生き活きクラブ	高齢者		地活	9608	0	0	0	9608	0
	112		包括	0	0	0	0	0	0
	0	9608	生活	0	0	0	0	0	0
父親育児支援講座	乳幼児		地活	9303	0	0	0	9303	0
	12		包括	0	0	0	0	0	0
	0	9303	生活	0	0	0	0	0	0
折り紙サークル	地域		地活	4015	0	0	0	4015	0
	86		包括	0	0	0	0	0	0
	0	4015	生活	0	0	0	0	0	0
障害者ポスティングボランティア	障害者		地活	6425	0	0	0	6425	0
	24		包括	0	0	0	0	0	0
	0	6425	生活	0	0	0	0	0	0
大人のためのクリスマスコンサート	地域		地活	2842	25000	0	27842	0	0
	50		包括	0	0	0	0	0	0
	500	27842	生活	0	0	0	0	0	0
子育てボランティア交流会	地域		地活	3840	0	0	0	3840	0
	6		包括	0	0	0	0	0	0
	0	3840	生活	0	0	0	0	0	0

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **東山田地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護者のつどい 「ほっと茶屋」	高齢者	35252	地活	0	0	0	0	0	0
	60		包括	27852	7400	0	0	35252	0
	100		生活	0	0	0	0	0	0
出張相談会	高齢者	300	地活	0	0	0	0	0	0
	12		包括	300	0	0	0	300	0
	0		生活	0	0	0	0	0	0
障害ってなんだろう	地域	5661	地活	0	0	0	0	0	0
	80		包括	5661	0	0	0	5661	0
	0		生活	0	0	0	0	0	0
出前講座	地域	8400	地活	0	0	0	0	0	0
	830		包括	8400	0	0	0	0	8400
	0		生活	0	0	0	0	0	0
ポイストレーニング	高齢者	129751	地活	0	0	0	0	0	0
	232		包括	13751	116000	0	129186	565	0
	500		生活	0	0	0	0	0	0
臨床美術 シーグラス	地域	16772	地活	0	0	0	0	0	0
	12		包括	7172	9600	0	5568	9792	1412
	800		生活	0	0	0	0	0	0
臨床美術 切り絵	地域	40959	地活	0	0	0	0	0	0
	21		包括	9459	31500	0	16704	24255	0
	1500		生活	0	0	0	0	0	0
ケアマネサロン	事業者	1138	地活	0	0	0	0	0	0
	54		包括	1138	0	0	0	1138	0
	0		生活	0	0	0	0	0	0
新人ケアマネ研修	事業者	3220	地活	0	0	0	0	0	0
	49		包括	3220	0	0	0	3220	0
	0		生活	0	0	0	0	0	0
認知症ミニフォーラム	地域	55685	地活	0	0	0	0	0	0
	54		包括	55685	0	0	55685	0	0
	0		生活	0	0	0	0	0	0
エリア連絡会	事業者	1117	地活	0	0	0	0	0	0
	25		包括	1117	0	0	0	1117	0
	0		生活	0	0	0	0	0	0
TAKE10	地域	11246	地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0	0	0	0	0	0
			生活	11246	0	0	0	11246	0

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

東山田地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
インフォーマルリスト	地域・事業者		地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0	0	0	0	0	0
		39960	生活	39960	0	0	0	39960	0